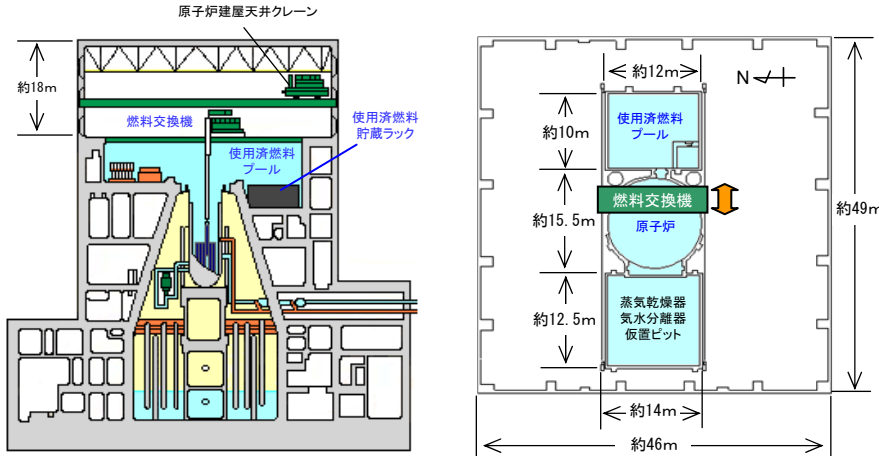


福島第二原子力発電所 1号機 燃料移動作業の完了について

【参考資料】
平成26年7月11日
東京電力株式会社

当所1号機は、6月2日より燃料移動作業を開始し、順次、原子炉内に装荷されている燃料の使用済燃料プールへの移動を行い、7月10日、全燃料(764体)の移動が完了しました。今後、4号機の炉内点検の水平展開として、蒸気乾燥器の周りの目視点検*を8月上旬頃より開始する予定です。

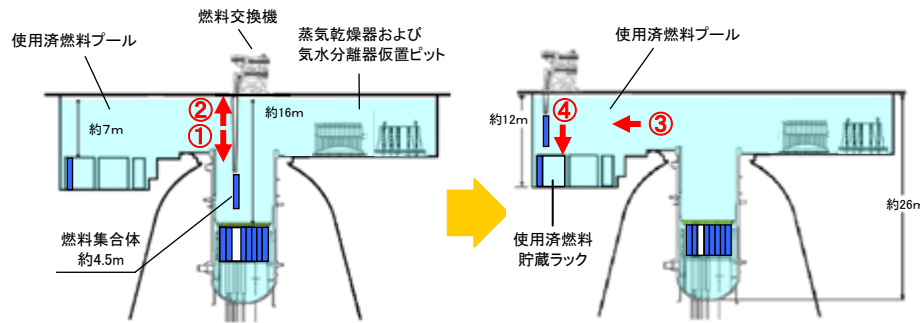
1. 原子炉ならびに使用済燃料プールの配置



【原子炉建屋(断面図)】

【原子炉建屋6階(平面図)】

2. 原子炉内から使用済燃料プールへの燃料移動手順



- 燃料交換機に装着された燃料つかみ装置を原子炉内の燃料集合体位置へ降下する。
- 燃料つかみ装置によって燃料集合体をつかみ、吊り上げる。

- 吊り上げた燃料集合体を、水中移動で使用済燃料プールへ移動する。
- 燃料集合体を使用済燃料貯蔵ラックへ収納する。

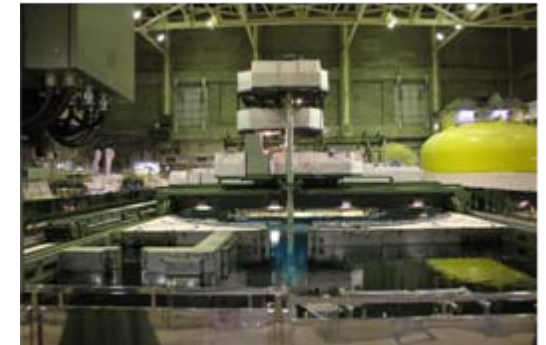
3. 燃料移動作業の様子(実績)

燃料移動にあたっては、事前にコンピュータにプログラミングして自動制御で行いますが、作業中は、中央制御室ならびに作業現場(燃料交換機操作室、燃料交換機上)に専任の人員を配置し、連携を取って確認し合いながら764体ある燃料集合体を1体ずつ移動しました。

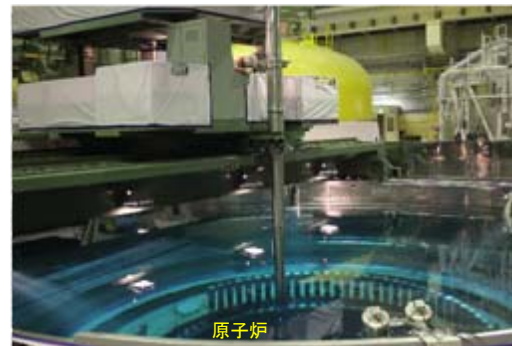
- 中央制御室 : 作業全体の監視・確認(原子炉の未臨界監視等)
- 燃料交換機操作室: 燃料移動の順番・位置の確認等
- 燃料交換機上 : 原子炉からの引き抜きおよび使用済燃料貯蔵ラックへの収納の確認等



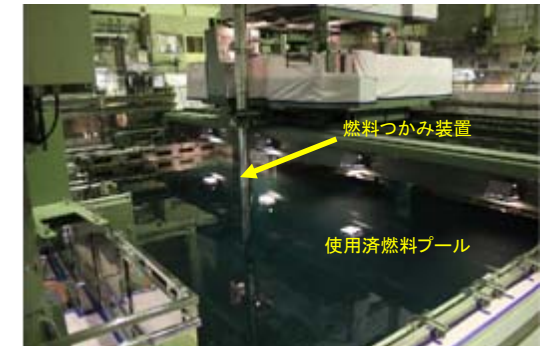
燃料交換機操作室から全体の状況を確認する監視員



燃料交換機移動の様子(手前:使用済燃料プール)



原子炉から燃料集合体の取り出し



使用済燃料貯蔵ラックへの収納

* 蒸気乾燥器の周りの目視点検とは、蒸気乾燥器を支持する部材(蒸気乾燥器支持ブラケット、蒸気乾燥器耐震用ブロック)の点検のことで、4号機の炉内点検で軽微な損傷が認められたことから実施するものです。

福島復興への責任を果たすために、福島第二原子力発電所は引き続き安定した冷温停止を維持してまいります。